



学校教育目標

自ら考えて 進んで行動する 子どもの育成

めざす学校像

- ・一人ひとりの学びを保障し、楽しく学べる学校
- ・好ましい人格形成をめざす学校
- ・教職員が意欲と誇りを持って勤務できる学校
- ・保護者・地域に開かれた学校

めざす子ども像

- ・明るく 強い子ども
- ・よく考え 努力する子ども
- ・やさしく 礼儀正しい子ども
- ・地域を 愛する子ども

めざす教師像

- ・温かいまなざしで教育的愛情を注ぐ教職員
- ・専門性を身につけ、向上心あふれる教職員
- ・高い倫理観と危機管理意識を持って、教育実践に努める教職員
- ・より質の高い教育実践のために働き方を見つめ、工夫する教職員

令和5年度 重点目標

★支援教育の充実

- 学校全体での支援教育の推進。
- ユニバーサルデザイン教育の視点をいれた「わかる」「できる」授業の実践。

★生命を尊重し自他を大切に思う

豊かな人間性を育む教育の推進

- 互いを認め合える道徳教育の推進。
- 自他を認め行動できるようになるための人権教育の推進。
- 豊かな人間関係づくりの推進。
- 適切な言葉づかいの指導及び環境づくりの推進。

★第5次 茨木っ子プラン ネクスト5.0

～一人も見捨てへん教育～の推進

- 全教科において、リーディングスキルを意識した授業づくりを行い、言語能力等の育成に取り組む。
- 元気力を土台とし、ゆめ力・自分力・つながり力・学び力を育む→非認知能力の育成
- タブレットの活用を深め「個別最適化された創造的な学び」「協働的な学び」をめざす。
- 校内研究及び研修の充実→主体的な校内研究の推進
- 主体的な学びに力点を置いた「自学力」の育成→6年間で身につけるべき「自学力」を見通した系統的な家庭学習の推進

★生活指導及び特別に配慮を要する児童への支援

- いじめ防止の推進と早期発見・早期解決のための校内体制の確立。
- 教育相談、児童アンケートの結果を生かした個々に応じた指導。
- 不登校・虐待に対する迅速かつ粘り強い取り組みの推進。
- OSC,SSW 及び子ども家庭センター等の関係機関との連携。
- 子どもの人権を大切にされた指導。(体罰、各種ハラスメントの防止)

安全確保

- 体育・保健・安全部会を中心に「危機管理マニュアル」を整備し、避難訓練の実施など、より実効性のあるものとしていく。また、防災教育・減災教育にも積極的に取り組む。
- 児童の安全・安心を最優先に考え、学校として常に適切な対策を講じる。地域住民のボランティア活動とも連携し、「子どもを守るシステム」の充実を図る。
  - ・ P T A 地区委員会との連携
  - ・ 「安全見守り隊」等の取り組み
  - ・ 校区青少年指導員との連携
  - ・ 校区自主防災会との連携

地域連携

- コミュニティスクールづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって教育力を高めるための体制整備に努める。
  - ・ 学校と地域を結ぶコーディネーターの育成
  - ・ 学校運営協議会との連携
  - ・ 青少年健全育成協議会の取組
  - ・ 校区放課後子ども教室の活動の充実